

AMEDがん研究の成果（令和4年7月～9月）

☆口腔がん（転移）

口腔がんの転移メカニズムの新発見と新規治療法への期待！

増殖をしていない口腔がん細胞が運動能を獲得して転移するメカニズムを発見 ーがん転移を抑制する新規治療法の開発に期待ー

☆大腸がん（転移）

未だ予後不良の転移を伴う大腸がん（5年生存率は約20%）のメカニズムの解明と新規治療法への期待！

大腸がんの転移能と幹細胞性を制御するメカニズムを発見 ーがん幹細胞を標的とした新たな治療法開発への足がかりー

☆膵臓がん（診断）

代表的な難治がんである膵がんの早期発見、早期治療に繋がる診断キットの製造販売承認申請！

膵がん患者血液中で変化するアポリポ蛋白A2アイソフォーム濃度を測定する体外診断用医薬品の製造販売承認申請について

☆大腸がん（再発）

大腸がんの再燃・再発につながる新しいメカニズムを解明し、新治療法の開発につながることを期待！

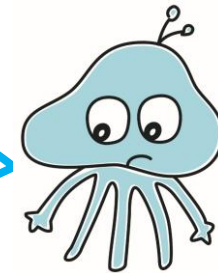
大腸がん幹細胞が化学療法後に再発するメカニズムを解明 ー大腸がんの再発予防・根治療法開発に光明ー

☆がんウイルス療法（治療）

悪性度がもっとも高い脳腫瘍に対して、遺伝子改変ヘルペスウイルスG47Δは世界で初めて承認されたウイルス療法薬。脳腫瘍以外の固形がんにも広がるか！

残存・再発膠芽腫への最大6回の腫瘍内反復投与で1年生存率84%ーウイルス療法薬G47Δを実用化に導いた医師主導治験とFIH試験の最終解析同時報告ー

各研究成果の詳細は、下線部分をクリックしてください。
各研究のお問い合わせは詳細ページに記載されています。



☆乳がん（難治性）

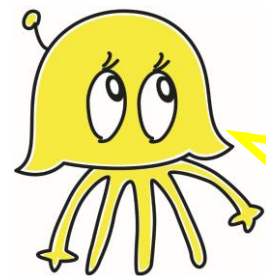
世界で1番患者数の多い乳がん、とりわけ難治性の「トリプルネガティブ乳がん」の重要なシグナル伝達経路を発見し、今後の新規治療法へ期待！

難治性乳癌の原因分子の発見

☆肝星細胞の単離（新手法）

肝がんを進展させる肝星細胞を生体内機能を保持したまま効率よく単離することに成功。肝がんの理解の進展に貢献！

肝がんを伴う高度脂肪肝から肝星細胞を単離する方法を開発 ー1細胞レベルでの細胞の性質解析が可能にー



成果がみなさんの元に早く届くよう、日々研究推進されています。